

Kテレ

今回は、2024年度の決算概況について、一般会計と公営企業会計に分けて調べていくのじゃ！

京都のまちを見守る
鐘馗はん

つかさどりのしらべる堂

・きょうのしらべるテーマ・

2024年度 決算概況

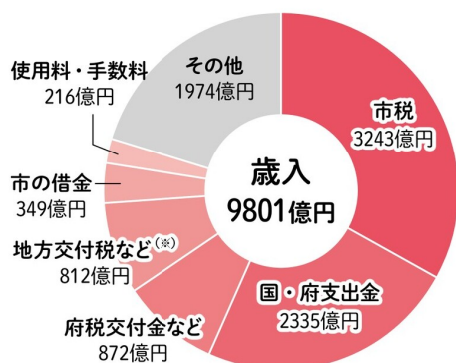
※金額は概数

問合せ 財政室 TEL222-3288 FAX222-3283

まずは一般会計からご覧ください。
2024年度も前年度に続き黒字を達成しています！

しらべる堂店主
つかさ

一般会計の 歳入の状況



※国が返済の責任を持つ市の借金を含む

●市税収入 3243 億円 (前年度比42億円増)

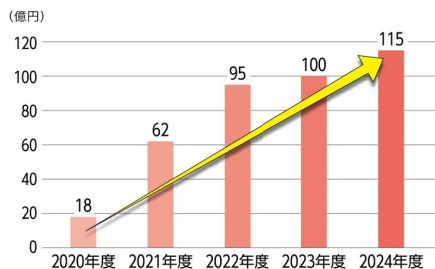
〈主な税収増加の要因〉

■固定資産税 (前年度比46億円増)

要因 地価上昇に伴う調整措置による増

市税収入額・市税徴収率はともに過去最高となりました。

●ふるさと納税寄付金 115 億円 (前年度比15億円増)



京都ならではの返礼品の充実などにより、寄付受け入れ額は過去最高になったのじゃ。

公営企業会計

公営企業は「独立採算制」の下、お客さまからの料金収入を基に運営しているため、

市バス・地下鉄事業のポイント

- お客さま数の回復などによる運賃収入の増加もあり、**市バス・地下鉄ともに2年連続で黒字**。
- 市バスは、国や市の財政支援を含んだうえで10億円の黒字を確保したものの、黒字幅は昨年度(12億円)から縮小。
- 地下鉄は26億円の黒字となるものの、いまだ多額の企業債残高を抱える状況。

問合せ 財務課 TEL863-5085 FAX863-5069

人件費や燃料費の高騰など厳しい経営状況が続く見込みのため、引き続き、持続可能で安全かつ満足度の高い市バス・地下鉄事業を目指し、市バスの混雑対策や経営改善などの取り組みを着実に推進。

詳細はこちら ▶



上下水道事業のポイント

- 老朽化した管路・施設の改築更新化、浸水対策など長期的な視点に立つラインを守るための事業を着実に
- 効率的な事業運営に努めたものの、高騰などにより**水道・下水道とも1が減少**。

問合せ 経営戦略室 TEL672-7722



- 市民しんぶんの制作費1億650万円のうち、約48%(5050万円)を広告料収入で賄っています(金額は概算)。
- 市民しんぶん1部当たりの公費負担額は3.7円です。

京都市の
(2025年8月)

143万

男 67万

女 75万

世帯



75万78

一般会計

〈収支の全体像〉

	歳入	歳出	翌年度への繰り越し額	収支
一般会計	9801億円	9718億円	25億円	58億円

※全会計（特別会計、公営企業会計を含む）の歳出総額は1兆8220億円（収支は396億円）



- 特別の財源対策を実施せず、58億円の**黒字を達成**（3年連続で黒字達成）
- 2024年度も計画どおり過去負債を35億円返済し、持続可能な行財政運営に向けて前進

財政用語メモ

● 特別の財源対策

公債償還基金（市の借金返済のための積立金）の取り崩しなどにより、赤字補填を行うこと。

● 過去負債

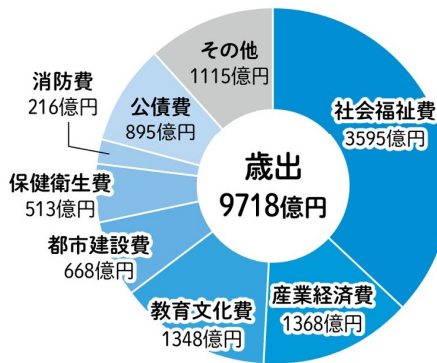
赤字補填のために、公債償還基金からこれまで取り崩してきたもの。今後返済が必要な総額は425億円（2025年9月1日時点）。

次に市民の皆さまの生活に関わりの深い歳入・歳出について分かりやすく説明するのである！



一般会計の歳出の状況

「突き抜ける世界都市 京都」を実現するため、主にこれらの取り組みに使われたのである。



社会福祉費

児童手当を拡充し、子育て世帯の負担を軽減



産業経済費

地域企業の下支えや、さらに発展していくための成長支援



教育文化費

校内サポートルームの整備推進など、不登校児童生徒への支援を強化



都市建設費

既存住宅を購入する若年・子育て世帯に、京都安心すまい応援金を交付して定住・移住を促進



保健衛生費

乳幼児健康診査の費用助成を拡充



詳細はこちら



一般会計と分けて記載します。

新や耐震
まち、ライ
推進。
物価の
黒字幅

今後も物価の高騰や老朽化した管路の更新費の増加など、厳しい経営状況が見込まれるため、引き続き効率的・効果的で持続可能な事業運営を推進。

FAX682-2454

詳細はこちら



今後も安定した財政運営を着実に実行していくのじゃ！

さて、本日のしらべる堂はこれにて閉店。またのご利用をお待ちしております！



わしももう少し出番がほしいのじゃ...

まあまあ

人口統計

（月1日時点）

3026人

6456人

6570人

席数



22世帯



京都いつでもコール

TEL 661-3755

FAX 661-5855

TEL：8～21時、FAX・メール：24時間（年中無休）※おかけ間違いにご注意ください

京都いつでもコール